

JSAF 外洋東海第 92 回理事会議事録

1. 開催日時 平成 31 年 1 月 25 日（金）午後 6 時 45 分～8 時 55 分
2. 開催場所 愛知県スポーツ会館
3. 出席理事（本人出席）
坂谷定生、大島茂樹、吉村政治、川合紀行、三浦信郎、中村 孝、岩瀬喜
貞龍野信人
（委任状出席）
渡邊大志、安井 理、池本展宏
定足数 10 出席数 11（成立）

4. 議事内容

定刻になったので、坂谷会長議長となり理事会の開会を宣す。
議事録署名人として、川合紀行、三浦信郎の両氏を指名後議事に入る。

JSAF 関係報告

坂谷会長より以下の通り報告があった。

- ・2020 年のオリンピックにおいて外洋艇によるショーケースイベントが企画されたが残念ながら流れた。しかしここにきて World Sailing において 2024 のパリ大会からキールボートが種目の一つになることが決議された。このことにより 2019 年からオリンピックと同じフォーマットで毎年キールボートによる世界選手権が開催されることになった。今後外洋としてまずは世界選手権のメダル獲得に向けて委員会を立ち上げて進むことになる。

世界選手権の公示が未発表だが、今現在の情報としては、男女ペアのダブルハンド、使用艇は L-70 (30ft スロベニア製)、レースは 500 マイルのオフショア 1 本、あるいは 200 マイルオフショア 1 本+上下 2 本の組み合わせなどが出ている。2019 はヨーロッパが会場。

川合理事（JSAF・IRC 委員長）からは IRC に関して以下の報告があった。

本年から IRC 計測に係る証書の発行事務については、委員会と個人間で全てメールで行うことになった。今後は申請者に直接、証書と請求書が届くことになる。

平成 30 年度（12 月末現在）事業報告について

- ・会長から資料に基づき各委員会別の 12 月末までの実績報告があった。また、12 月末までの収支状況報告があった。

レースでは全体で約 44 万円の黒字、会費収入は約 480 万円、JSAF への支出が約 240 万円で 1/2 が東海に残った。

全体では昨年からの繰り越しが 212 万円あったこともあり、現預金残高は（パールの湘南共有資金含む）350 万円弱で最終的な次年度繰り越しは 100 万円程度になる

見込み。

収支状況に関し、中村理事から以下の要望があった。

- ・決算については年度表現にした方がわかりやすいので、年をまたぐ沖縄-東海ヨットレースなどに関して、次年度に組み込んだ方がわかりやすいものは未収金、仮払いで処理し、当年度処理がわかりやすい。
- ・会費収入が 3 パターンあるので表現がわかりにくい。単純な表現がわかりやすいので、修正できないか。

会長からは、次年度から希望に添えるように考えたいが、今回はこの収支状況で総会

等で説明したいとの回答があり、全員了承した。

平成 31 年度事業計画・収支予算について

- ・全体的な事業計画は例年通り、レース日程・内容についてはほぼ昨年の日程を踏襲する。昨年中止になってしまったが、TRS ディスタンスカップについてはチャンピオンシップに TRS を組み入れ、対応することとした。

年間成績については、IRC か TRS かの選択を年度当初に最初のレースで決定することとした。

パールについてはオリンピックの関係で、2019, 2020 の 2 年間は江の島フィニッシュが出来ないので、熱海（初島）フィニッシュを考えていることを確認した。

これに関し、岩瀬理事から初島なら距離の短いダイレクトコースを新設し、2 コース設定すれば参加艇が増えるのではないかと提案があり、実行委員会で協議することとした。

- ・会費については来期も同額としたい旨会長から提案があり了承された。

その他

- ・会長から今後のスケジュールとして 3 月 1 日に臨時総会を開催し、新年度事業計画案

と収支予算案の審議をし、5 月末に通常総会で事業実績及び収支決算の承認を得る予定を説明したところ、中村理事からどちらか 1 回の総会で対応できないかと提案があり、次回の臨時総会で協議していくこととした。

以上で協議終了し、午後 8 時 55 分坂谷会長閉会を宣し、散会した。

作成者 坂谷定生

平成 30 年 2 月 1 日

議事録署名人 川合紀行

三浦信郎